



No. **33**
25.May.2015

日本ホスピス緩和ケア協会

NEWS LETTER

ニューズレター

Hospice Palliative Care Japan

日本ホスピス緩和ケア協会事務局

〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1

ピースハウスホスピス教育研究所内

TEL 0465-80-1381 FAX 0465-80-1382

Website <http://www.hpcj.org/> E-mail info@hpcj.org



メッセージ：2015年度 年次大会を前にして

専門性を高め、質の向上をめざす- これからの10年に備えて -



特定非営利活動法人
日本ホスピス緩和ケア協会
理事長 志真 泰夫

2015年 7月18日・19日の両日に渡り、東京ビックサイトを会場に日本ホスピス緩和ケア協会2015年度年次大会が開催されます。大会の1日目は総会と講演+シンポジウム、2日目は分科会+管理者セミナー・MSWセミナーを開催します。

第1日目の総会では、2015年度事業計画・予算をお諮りし、専門委員会の再編、認証制度の発足、会費の改定についてご報告します。

その後、講演「臨床哲学との対話」、シンポジウム「緩和ケアにおける対話」を企画しました。その企画のねらいを述べます。

私たちになぜ臨床哲学が必要か

まず、臨床哲学とはなにか、そして、なぜ今、当協会が臨床哲学を取りあげるのか。わが国のホスピス緩和ケアにおけるこの10年間余りの変化は激しく、当事者である私たち自身が自分を見失う恐れを感じます。

「おのれ」を見失わないために必要なことは、しっかり「おのれの頭」で考えることです。哲学的思索は、「おのれ」とは何か、と「おのれ」を問うことから始まります。したがって、臨床哲学とは、臨床という場にいる「おのれ」を問う哲学的思索のひとつである、とわたしは理解します。そこでまず臨床哲学とはなにか、について本間先生にそのエッセンスを手解きしてもらいます。次いで、3人のシンポジストによる「緩和ケアにおける対話」について語ってもらいます。臨床哲学は、「専門的緩和ケア看護師教育プログラム」

(SPACE-N)の基盤となっています。このシンポジウムを通して、SPACE-Nがめざすところも会員のみなさんに理解してもらえれば幸いです。

さて、このシンポジウムから第2日目の分科会1～5へ繋がります。分科会1では昨年引き続き、2018年の診療報酬・介護報酬同時改定にむけて中期的展望の下で、地域包括ケアと地域緩和ケアのかかわりにつ

いて討議を深めたいと思います。分科会2は、緩和ケア・エンドオブライ・ケアに携わる看護師のための基本教育プログラム(ELNEC-J)修了後の継続教育プログラムのあり方について討議をします。分科会3は、「ホスピス・緩和ケア病棟における質向上の取り組みに関する認証制度(以下、認証制度)」について認証委員会から今後の具体的なスケジュール、申請方法、認証の基準等についてご説明します。その後、認証制度や質の向上の取り組みについてグループワークを行います。

これからの10年に備える

分科会4は、近年「がんと診断された時から緩和ケア」が政策として提唱され、がん治療の早い時期から専門的な緩和ケアの導入を図る「早期緩和ケア」が良いとされています。しかし、現実には治療の早い時期から緩和ケア病棟に紹介しても、「まだその時期ではない」紹介したら「1ヶ月待ち」といわれた、あるいは残されている時間がぎりぎりになって、「すぐ入院させろ」「患者にも家族にもほとんど説明がなく、丸投げのようにして入院させた」などという、行き違いがあちこちで起きています。そこで、こういった問題に焦点を当てた二つのアンケート調査を基にして、がん治療を主とする拠点病院と緩和ケア病棟の関係、緩和ケア病棟の役割、緩和ケア外来のあり方について議論を深めます。さらに、分科会5では、昨年に引き続いて緩和ケア病棟で働く専従医師のアンケートに基づく議論を活発に行います。また、従来の「看護管理者セミナー」は「緩和ケア病棟運営管理者セミナー」として衣替えをして、緩和ケア病棟の質向上への取り組みを支援する一つとして、今後開催を継続します。MSWセミナーは例年通り開催します。

わたしは、当協会が「専門的な緩和ケアを提供する施設と個人からなる団体」として、「専門的な緩和ケアの普及と質の向上」に努めることが使命であると繰り返し述べてきました。わが国のホスピス緩和ケアはこれから10年間余り、これまでに増してさらに激しい変化が起きるでしょう。そこで、当事者である会員のみなさんが専門性を見失わずに、しっかり「おのれの頭」で考えて、これから先の見通しを持つ機会として今回の年次大会を活用してほしいと思います。

2015年度 年次大会のご案内

日時 7月18日(土)・19日(日)

【会場】東京ビッグサイト会議棟 (〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1)
<http://www.bigsight.jp/>

【対象】協会正会員・準会員・賛助会員

【参加証】事前に参加登録され、参加費のお振り込みが確認できた会員には、6月1日以降、下記のように対応いたします。6月22日(月)までに参加登録証が代表者に届かない場合は、協会事務局へご連絡下さい。

施設会員の方 同一施設から申し込みのあった方全員の参加登録証をまとめて、申し込み代表者宛に郵送いたします。当日は、参加登録証と引き換えに名札と資料をお渡しいたします。

個人会員の方 協会にご登録いただいている住所宛に参加登録証を郵送いたします。当日は、参加登録証と引き換えに名札と資料をお渡しいたします。



7月18日(土)

13:30-14:45 [総会] 2014年度活動報告・決算、2015年度活動計画・予算について 等

15:00-17:30 [講演とシンポジウム]

講演「臨床哲学と対話」

演者：本間 直樹 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 准教授
座長：志真 泰夫 日本ホスピス緩和ケア協会 理事長

シンポジウム「緩和ケアにおける対話」

シンポジスト：新幡 智子 日本ホスピス緩和ケア協会 看護師教育支援部会
高橋 綾 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 招聘教員
平川 未来 東芝病院 緩和ケア認定看護師・主任看護師
座長：石原 辰彦 日本ホスピス緩和ケア協会 副理事長
田村 恵子 同上

18:00-20:00 [懇親会]



7月19日(日)

9:00-12:00 [分科会]

テーマ

担当

- | | |
|--|---|
| 1) 地域包括ケアシステムと地域緩和ケアの関わり | 医療・介護保険委員会 |
| 2) ELNEC-J修了者への教育
～ELNEC-Jの教材を活用して～ | 看護師教育支援部会 |
| 3) 質向上の取り組みを支援する
－認証制度の意味と意義－ | 評価委員会 |
| 4) 緩和ケア病棟は入院しにくい？
－緩和ケアの外来機能とは－ | 木澤 義之(神戸大学大学院医学研究科)
関本 翌子(国立がん研究センター東病院) |
| 5) ①緩和ケア病棟で働く－その魅力とやりがい－
②緩和ケア医の専門教育
－コア・コンピテンシーを中心に考える－ | 医師教育支援部会 |

13:30-17:00 [特別企画]

緩和ケア病棟運営管理者セミナー
「緩和ケア病棟における鎮静の実践を考える」

MSWセミナー
「緩和ケアにおけるソーシャルワークの倫理」

専門的緩和ケア看護師教育プログラムのご紹介

—SPACE-N (Specialized Palliative Care Education for Nurses) Program—

専門的緩和ケア看護師教育プログラム（SPACE-Nプログラム）をご存知ですか。



このSPACE-Nプログラムは、ホスピス・緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、在宅緩和ケアに従事している看護師の方を対象とした教育プログラムで、2014年度よりHPCJ主催で第1回が開催され、33名の方が修了されました。

このプログラムは、専門的緩和ケアを担う場において、リーダーシップを発揮し、意欲的に専門的緩和ケアの質の向上に取り組むことができる看護師を育成し、苦や死と向き合って生きるがん患者・家族を支えるために求められるコアコンピテンシーの向上をはかることを目的としています。一方向の講義形式ではなく、事前にお渡しする教材（CD-ROM）にそって自己学習を行い、専門的緩和ケアに必要な知識を深めるとともに、対話形式によるグループワークからなる5回コースの研修会を通して、苦や死と向き合って生きるがん患者・家族に寄り添い、支えていくために必要なケアについて共に探究し、お互いにエンパワメントしていく内容で構成されます。

昨年度の受講者の方からは、コアコンピテンシーの認識の向上や自己の考えの深まりとともに、対話を通して仲間との関係性の構築や緩和ケアの実践に対する意欲の向上などのポジティブなご意見を多くいただきました。

今年度は、東京と大阪で2回開催を予定しております（定員：各30名）。ぜひ、この機会に専門的緩和ケアについて対話を通して共に考え、理解を深めてみませんか。専門的緩和ケアについてさらに熟達したいという意欲がある皆様のご参加を心よりお待ちしております。



第1回SPACE-Nプログラムの様子



2015年度開催予定

	第2回SPACE-Nプログラム【大阪】	第3回SPACE-Nプログラム【東京】
会場	淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院 3階 〒533-0033 大阪市東淀川区東中島6丁目9番3号	日本財団ビル 2階 〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目2番2号
1回目	2015年9月21日（月）10:30-17:00	2015年9月26日（土）10:30-17:00
2回目	2015年9月22日（火）9:30-16:30	2015年9月27日（日）9:30-16:30
3回目	2015年10月31日（土）10:30-17:00	2015年10月25日（日）10:30-17:00
4回目	2015年11月28日（土）10:30-17:00	2015年11月29日（日）10:30-17:00
5回目	2015年12月26日（土）10:30-17:00	2015年12月20日（日）10:30-17:00

※ 第2回SPACE-Nプログラム【大阪】、第3回SPACE-Nプログラム【東京】は同様の内容です（重複してご参加はできません）。
※ ご参加される際は、開催場所毎で、上記5回すべてにご参加ください。

申込み方法の詳細につきましては、各会員施設のご担当者様にメールにてご連絡いたします。
後日、協会のウェブサイトからも閲覧できる予定です。



事務局通信

入会・施設基準届出受理施設について

2015年1月発行のニューズレターでご報告して以降、新たに入会・届出受理の連絡があった施設は、次の通りです。

- ★緩和ケア病棟入院料届出受理施設
- ☆緩和ケア診療加算届出受理施設
- ◇一般病院
- ◎診療所・訪問看護ステーション等

正会員【新入会】

- ★朝倉医師会病院（福岡県朝倉市）
- ★ベルランド総合病院（大阪府堺市）
- ◇神戸協同病院（兵庫県神戸市）
- ◎松原アーバンクリニック（東京都世田谷区）
- ◎マーガレットクリニック（愛知県名古屋市）

正会員【区分変更】

- ★中津胃腸病院（大分県中津市）
- ★徳島県立三好病院（徳島県三好市）
- ★広島共立病院（広島県広島市）
- ☆手稲溪仁会病院（北海道札幌市）
- ☆北見赤十字病院（北海道北見市）
- ☆東邦大学医療センター大橋病院（東京都目黒区）

準会員

- ・まちのナースステーション八千代（千葉県）
- ・訪問看護ほすびす（兵庫県）
- ・占部久仁子（京都府）
- ・瀧原 至（非公開）
- ・二見 典子（神奈川県）
- ・藤本 肇（埼玉県）
- ・高野 純子（神奈川県）

賛助会員

- ・八塔 累子（島根県出雲市）

● 求人広告をご利用下さい ●

当協会では、ホスピス緩和ケアに携わるスタッフの充実をはかり、ケアの質の向上を目指すことを目的として、正会員施設の求人広告をホームページに掲載しています。

利用対象：日本ホスピス緩和ケア協会の正会員
掲載費用：無料
掲載期間：4ヶ月

但し期限以降も継続希望の連絡があれば、引き続き掲載いたします。

▼掲載を希望される場合▼

会員専用ページから登録票をダウンロードし、必要事項を記載の上、事務局まで郵送して下さい。

ダウンロードができない場合は、事務局までお問い合わせいただければ、登録票をお送りいたします。



会員専用ページのIDについて □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

協会では、ウェブサイト会員専用ページを設けており、毎年5月にログインIDとパスワードを更新しています。これまで、新しいID・パスワードは書類でご案内しておりましたが、今回はカードでお送りいたします。再発行はいたしませんので、各自保管して下さいますようお願い申し上げます。

ご寄付のお願い

私どもの活動は、協会の事業に賛同し、応援して下さいる個人の方、団体からのご寄付によって支えられています。皆様の温かいご支援をお待ちしています。詳細につきましては、以下を明記の上、郵便またはメール（info@hpcj.org）・FAX（0465-80-1382）にて事務局までお問い合わせ下さい。関係資料をお送りいたします。

- ①お名前（法人は法人名と連絡担当者名）
- ②ご住所
- ③電話番号
- ④メールアドレス（お持ちでしたら）

直接お振込みいただく場合、振込先は下記の通りです。

【振込先】 三菱東京UFJ銀行 新富町支店
口座：普通預金 3677396
名義：特定非営利活動法人 日本ホスピス緩和ケア協会 理事長 志真 泰夫

